

分光と関連現象の実験及び理論について議論した。

当初、予算に不確定な要素があり、国際共同研究以外の外国人招待講演候補者との交渉が大幅に遅れたため、都

合が見つからない人たちから残念がられたことは大きな反省点である。また、国際共同研究者の都合に基づき、このような時期に開催してしまっただが、日本人にはあまりよくない時期になってし

まったことを、企画したものとして反省している。

なお、講演内容と関連論文を集めた論文選集が少し余っていますので、ご希望の方にはお送りします。小杉までご請求下さい。

(小杉信博 記)



バンケットで外国人運営顧問の Joseph Nordgren 教授と分子研所長が光科学について議論しているところ

News

夏の体験入学

総研大の新入生確保のための広報的事業の一環として、分子科学研究所夏の体験入学を8月7-10日に行いました。この企画は、全国の大学生・大学院修士課程学生を対象に、分子研での研究活動を体験し、研究所を基盤とする大学院の特色を知ってもらうことを趣旨としており、今回が第3回目となりました。実施内容について簡単にご報告申し上げます。

今回は20名の事前申し込みがありましたが、体調不良等などにより辞退者がでたため、実際には合計16名の参加となりました。参加者の学年別の内訳としては以下の通りです。B1: 1名、B2: 6名、B3: 4名、B4: 2名、M1: 2名、M2: 1名。初日は、午後から体験プログラム紹介、放射光実験施設・計算科学研究センターの見学、集合写真撮影を行い、夕方から歓迎会を行いました。実際の研究体験は、2つのキャンパス(明大寺・山手)を利

用して、2日目と3日目の正味2日間で行いました。最終日の午前中に、全ての参加者に体験内容の報告・発表をしてもらいました。

参加者に対してアンケートを行った

結果、分子研や総研大の印象などについては次のような意見が多くありました。

1. 最先端でオリジナルな設備を十二分に使える研究環境は素晴らしい。



2. アカデミックな雰囲気や所員が高い問題意識を持ってひたむきに研究に取り組む姿勢に感動した

3. 問題設定から解決にいたるまでを議論を重ねながら進めるプロセスに対して魅力を感じた

また、アンケートを通して、多くの学生さんが知識的技術的な面での未熟さを実感しつつも、それをなんとか吸収したいという強い意気込みを持っていることがわかりました。この前向きな姿勢には多いに勇気づけられました。一方で、大学での講義内容と先端科学

の大きなギャップを前にして、何を基準にして進路を決めたら良いか悩む学生の姿も浮き彫りになりました。

残念ながら、今年度の総研大入試受験者の中に、今回の体験入学参加者は含まれていません。この理由としては、対象となる学生数が3名と少なかったことや出願期間（8月10-16日）が多くの大学の休日と重なったことなどが考えられます。しかし、進路の選択肢として総研大に興味があるとの回答が11名の参加者から寄せられました。またアンケートや参加者の声を聞く限

り、総研大の認知度や理解を高める効果があったと思います。今後もこの企画を発展的に継続させることが、総研大の活性化につながると信じています。

最後に、今回の企画を実施するにあたり、総研大広報委員会の皆様、研究所間のとりまとめをしてくださった核融合研の竹入先生・受入研究室の皆さん・大学院担当事務・その他関係者の皆さんに多大なご協力を頂きました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

（佃 達哉 記）

体験内容

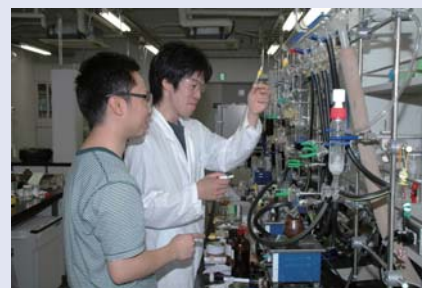
参加者の学年および体験内容

1. 学部3回生
ナノの金属ロッドを作って波動関数を見る
2. 学部2回生
新しい電子物性を狙った分子物質開発
3. 学部3回生
金属錯体の合成実験—フェロセンの合成
4. 学部3回生
スピン転移物質の合成
5. 学部3回生
極短パルス光による反応イメージングと制御
6. 学部1回生
レーザー光イオン化質量分析法による共鳴イオン化スペクトルの測定
7. 修士課程2回生
分子の配列を観察しよう
8. 学部2回生
金クラスターの精密合成
9. 学部2回生
クラスター触媒を用いた反応の一例を体験
10. 修士課程1回生
固体広幅NMR装置を体験するとともに、最先端のESR装置を使って分子性固体の電子状態（磁性・伝導性）を実測してみよう
11. 学部4回生 同上
12. 修士課程1回生
二酸化炭素の還元反応に関する研究を体験
13. 学部2回生
量子化学の基礎にふれ、実際にプログラムを使ってみよう
14. 学部2回生
生体分子の細胞内動態を解析する
15. 学部4回生
光合成モデル化合物の合成
16. 学部2回生
量子論におけるダイナミクスとは何であるかを数値実験を通して体感しよう！



研究体験風景1

研究体験風景2



研究体験風景3



若手懇親会風景